

衣浦中学軟式野球交流会大会運営細則

□大会運営要項について

本大会は開催年度の公認野球規則、および以下の交流会運営細則を適用する。

1. 大会の運営について（トーナメント・リーグ戦）

- ①本大会のルールは、当該年度公認野球規則による。
- ②トーナメント・リーグ戦のイニング回数は7回戦もしくは1時間30分とし、試合時間が1時間20分を超えた場合は次のイニングに進まない。本部または主審の判断で最終回、ゲームセットを判断する。同点の場合、最後に出場していた9名の抽選で決定する。
- ③同点の場合で1時間30分以内であればタイブレイクで勝敗を決定する。
- ④タイブレイク・特別ルール

前回の最終打者を一塁、その前の打者を二塁走者とし、0アウト、二塁の状態にする。1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。決勝戦のみタイブレイクで勝敗が決しない場合は、もう1イニング(最長2イニングまで)行う。決勝戦でタイブレイク2イニングを行っても勝敗が決しない場合は、最後に出場していた9名の抽選で決定する。

- ⑤本大会での3位決定戦は行わず、2チームを3位とする。ただし、愛知県軟式野球クラブチーム選手権大会およびその他の大会予選を兼ねる場合は、3位以下の順位を得失点差で決定する。(同順位の場合は抽選とする)
- ⑥本大会の優勝、準優勝、3位入賞チームおよび優秀選手を表彰する。
- ⑦本大会のコールドゲームは、日没・降雨等の場合は5回、得点の場合は3回10点、5回以降7点の差を生じた場合とする。
- ⑧日没・降雨等で試合が成立しなかった場合は後日、継続試合とする。
- ⑨試合球は、全日本軟式野球連盟公認球(マルエスM)球とする。
- ⑩チーム登録は、監督1名、コーチ2名(両者20歳以上)選手は各中学在籍の25名、スコアラー、補助員(マネージャー)、各1名とする。複数登録するチームの監督、コーチは、重複登録も可とする。
- ⑪大会参加費用は、各大会規模、参加チーム数等を考慮し全体会および事務局会議で決定する。

《その他、衣浦中学軟式野球交流会大会の注意事項》

1. 試合会場は、原則各チームのグラウンドおよび公営球場とする。
2. 試合開始時間について、両チームの了承、トーナメント前の試合がコールドゲームで早く終了した場合予定時間(10分~20分程度)より早めて開始する場合があります。
3. 気温が高い場合、2回、4回終了時点で試合時間に含めない5分間のクーリングタイムを設ける。20分以上守備機会が続く場合も同様に設ける。
4. 選手はスパイクまたは運動靴を使用し、同一のユニホームを着用する。また、スパイクは金属の装着(つめ)、金属製のポイントの装着されたものの使用も可とします。
5. 背番号は、登録されたナンバーをつける。
6. 審判員により、試合前にバット・ヘルメットその他用具の点検を行う。
7. 捕手は、マスク・プロテクター・レガース・キャッチャーヘルメット・ファールカップを着用する。

8. ベンチ内は、各チーム所属の選手とする。ただし、選手登録された選手以外は、背番号をつけてはならない。服装は同一ユニホーム、練習着、体操服、学生服以外は認めない。（監督、コーチも同一ユニホームを着用し監督は背番号を 30 番コーチは 29 番 28 番を必ず着用すること。チーム事情で着用できない場合、事前に審判団、相手チームに了承を得ればこの試合に出場できるものとする。）
9. 球場特別ルールとして、球場内外境界線を踏み越えての捕球は認めない。
10. 各チームは、会場に試合開始 1 時間前に到着し、30 分前には、メンバー表（3 部）を主審に提出するとともに、先攻・後攻を主将のジャンケンで決定する。
11. ベンチは若番のチームを一塁側とする。
12. 試合会場内外を問わず、鳴り物の応援を禁ずる。ただし、監督、コーチに限りメガホンの使用は認める。
13. 今大会、試合前のフィールド守備練習ノックは行わない。
14. 投球練習は、原則として、初回は 7 球、交代時は 5 球、インニングの始めは 3 球とする。
15. 試合中のファールボールは、ホームベースを中心にベンチ側で拾い、球審に届ける。
16. 次打者は、ネクストバッターサークル内で立って待つ。投手とのタイミング取りの素振りは禁止。
17. コーチャーズボックスに位置するコーチャーは、登録された選手とする。
18. 投手の投球制限は 1 日 100 球までとする。各チームの管理のもと対応する。なお、準決勝・決勝戦は本部で確認する。ピッチクロックの測定は行わないが投球動作の時間については、公式ルールのもと球審の判断に従う。
19. 攻守交代時は、駆け足で行い、試合球は投手板に置く。
20. 投手が投球動作（オンザラバー）に入った場合、過度な声かけ、応援、指示は慎むこと。
21. チームご家族、関係者の応援についてコーチングになるような応援は遠慮すること。
22. 試合開始時刻に無届けでの未着の場合は、試合を放棄したものとみなし、対戦チームの不戦勝とする。
23. バットは、全日本軟式野球連盟が公認したもののみを使用することができる。
24. 天候、グラウンドコンディション等により、試合を中止または試合開始時間、試合場所を変更する。決定は試合開始 2 時間前に各グラウンド責任者で決定し、審判、当該チームに連絡する。
25. グラウンドのライン引き会場づくりなど、第 1 試合の参加両チームでご協力をお願いします。
26. 試合が中止になった場合は、大会本部で日程を調整し、決定しだい、大会本部が当該チーム代表者、審判員に報告する。
27. 試合中の傷害については、各チームで責任をもって対応する。
28. 各チームの移動については、各チームで責任をもって、安全な移動に心がける。
29. 審判員は、交流会加盟各チーム指導者、愛知県軟式野球連盟登録審判員、選手の保護者および該当試合の選手とする。ただし主審については当該チーム以外の交流会加盟指導者、軟野連審判が行う。
30. 審判の判定に対する抗議は一切認めない。ただし判定に関する確認は球審の了解を得たうえで監督または該当プレイの選手のみ受け付ける。
31. 責任審判・当該審判および本部との競技による裁定には、必ず従うこと。
32. 交流会役員の中から責任審判（審判部長）を任命し、審判の運営にあたる。
33. その他の事項については、交流会会則に則り全体会および事務局会議で協議決定する。
34. 準決、決勝に限り参加する 4 チームは雨天等で試合日程の変更が余儀なくされ、出場ができない場合は、4 チームおよび大会本部はできる限り日程調整を行う。どうしても調整ができず、棄権チームが出た場合は、棄権チームの準々決勝対戦相手チームが準決勝、決勝へ出場することとする。